

令和7年度第5回名取市ごみ減量等推進協議会 会議概要

日 時： 令和7年12月17日（水）14時00分～15時30分

場 所： 名取市民体育館 第1階会議室

出席者： 委 員 星居会長 ほか13名

事務局 朽木課長・石川課長補佐兼係長・小山主事

内 容

1 開会

2 挨拶

星居会長より開会の挨拶をされた。

3 協議事項

（1）ごみダイエツ通信の記事検討について

案ー1 当協議会各委員で掲載記事の項目、記事内容の作成を行う。

案ー2 当協議会各委員に掲載記事の項目を検討いただき、記事内容の構成を事務局で行う。

＜委員からの意見＞

①案ー1は委員の目線で市民にお知らせできるメリットがある。

②委員で全部作成するのは負担が大きい。回覧と広報誌であれば広報誌が良く、案を出して事務局に作成してもらう方がよい。

③ある程度の案が出たら事務局にお願いする方がよい。

④委員で作成するのは、膨大な時間がかかり、手作りは難しい。

案ー1、案ー2について協議会を行い、今後継続して作成していく「ごみダイエツ通信」を委員が集まり作成するのは難しいとの意見から、案ー2を採用し、当協議会で記事のテーマや主題を提案いただき、事務局で作成することになった。

○ごみダイエツ通信の記事提案について

＜委員会からの提案事項＞

①温熱ベストにリチウムイオン電池が使われていることが直ぐわからず迷うことがあったため、リチウムイオン電池が含まれる製品の周知。

②リチウムイオン電池の自宅での保管方法。

③転入者向けのごみの捨て方

④コンポストでの生ごみ削減の周知

⑤主婦向けとして、食品ロス削減のお買い物編。

⑥主婦向けとして、食品ロス削減の残り物のアレンジ、工夫等。

- ⑦ペットボトルのラベルとキャップを分けて捨てるだけでなく、分けなければならない理由や必要性の周知
- ⑧ごみ収集車がリチウムイオン電池等での火災で壊れてしまった際にどのくらいの被害額になるのか。
- ⑨意識づけが大事であるため、一度の掲載ではなく、継続した掲載が必要である。
- ⑩ペットボトルの捨て方など、これまで何度も載せているが、いまだ浸透していないのが現状。根気強く周知が必要である。

(2) 食品ロス削減行動指針（案）について

概要、食品ロス削減行動指針（案）は別紙資料のとおり

＜委員からの意見＞

- ①「てまえどり」を認知しているが、商品が並んでいるときに、賞味期限が長い方を無意識に取ってしまうことがあるため、陳列棚にてまえどりや市役所が推奨しているなど示してはどうか。
- ②店側に少量ずつをお願いすると、店側の利益も下がる可能性がある。なので、持ち帰りが増えるのが望ましい。持ち帰った物もお弁当に入れたりするなどの活用方法がある。消費者と店舗側の損しない仕組みが必要だと思う。
- ③飲食店での食べ残しの持ち帰りは、店側の廃棄も減ることに繋がりよいが、持ち帰り用パックの費用が店側の負担にもなる。

4 その他

(1) 第6回名取市ごみ減量等推進協議会の日程

日時：令和8年2月中旬ごろ

5 閉 会

犬飼副会長より閉会の挨拶をされた。